

沿革

本部は之ヲ統裁スルヲトシタル。大正十年六月大改組。同日  
 屬年藝祭生タルヲ終不令長始ノ符部ヲ應援ス。○  
 並ニ新次郎等ノ謀ヒテ本部タル其正田四國所維一統内ニ  
 教育協會ヲ設ケ其事業トシテ九月十六日ヨリ日本労働  
 開始シ労働者ノ教育ヲ為ス。○十月一日ヨリ三日ヨリ  
 第十年記念大会ヲ開ク大会第二日労働年鑑ニ于テ  
 並ニシテ之ヲ表彰シタル爲今十月廿二日榮不會長  
 事ハ治廷遠及ニテ東京地方ヲ於テ各罰金五十圓ニ  
 セラル今月廿四日右兩名共和辭セリ

日本労働總同盟

東京聯合會  
(三一三名)

大日本護謨労働組合(三田工護謨會社) 一三名  
 紡織労働組合(請地支部(伊藤染工場)  
 吾婦支部(宇津毛工紡織會社) 一〇〇

三田支部 (日本電気會社) 一七二名

東京電機及機  
械工組合  
(二七七名)

海工支部 (市電浜村工場) 四四名  
 豊多支部 (市電監商會工場) 三八名  
 城幸支部 (日奔タムライタ) 二三名

東京洋服技工組合

秋道省(成川被服廠) 一〇〇名

東京家具職工組合  
(八〇名)

廿之支部 (散在) 三五名  
 常盤橋支部 (三越加工部) 四五名